

厚生労働科学研究費補助金
(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業 (健やか次世代育成総合研究事業))
分担研究報告書

小児の心身医学的健診と支援法に関する研究：
自記式 Pediatric Symptom Checklist17 日本語版の開発

研究分担者	石崎優子	(関西医科大学小児科学講座・准教授)
研究協力者	樋口隆弘	(関西医科大学総合医療センター・非常勤)
	柳本嘉時	(関西医科大学小児科学講座・助教)
	石田陽彦	(関西大学大学院心理学研究科・教授)
	石田拓也	(たちメンタルクリニック・非常勤)
	上西裕之	(関西大学大学院心理学研究科・特任准教授)
	小野真由子	(関西大学大学院心理学研究科・大学院生)

研究要旨：Pediatric Symptom Checklist (PSC) は、小児科外来で心理社会的問題を持つ子どもを早期発見することを目的に米国マサチューセッツ総合病院で開発された。PSC は Bright Futures においてスクリーニングツールとして推奨され、活用されている。本研究では自記式 PSC 短縮版 (17 項目版) の日本語版(JPSC17-Y)を作成し、信頼性と妥当性を検討することを目的として、小学生 217 名と中学生 84 名を対象として予備的に調査した。その結果、再検査法による信頼性は高く ($r=.86, p<.001$)、因子構造も原版に準拠していた。Cronbach の α 係数は 0.85 で、内的整合性が確保できた。JPSC17-Y は信頼性と妥当性が確保され、心理社会的問題を持つ子どもを早期に発見できるツールとなりうることが示唆された。

A. 研究目的

Pediatric Symptom Checklist(PSC)は 1986 年に米国マサチューセッツ総合病院児童精神科 Dr. Jellinek、Dr. Murphy により、小児科外来で心理社会的問題を持つ児の早期発見を目的として開発された保護者記入による 35 項目の簡単な質問文からなるスクリーニング検査である¹⁾。本邦では石崎が PSC 日本語版を開発した²⁾。続いて原作者らは短縮版である PSC17 を作成し、平谷らが PSC17 日本語版を開発した³⁾。

PSC は Bright Futures においてスクリーニングツールとして推奨され⁴⁾、活用されているのをはじめとして、数多くの実績を残し、2018 年 4 月には National Quality Forum に採択された⁵⁾。近年原作者の Dr. Murphy らは思春期患者の自記式 PSC17 の有用性を報告した⁶⁾。本研究では小児科領域における思春期の心理社会的問題のスクリーニングの開発を目的として自記式 PSC17 日本語版 (JPSC17-Y) の開発を行った。

B. 研究方法

1) JPSC17-Yの作成

JPSC17-Yは、令和元年度にDr. Murphyらによる自記式PSC短縮版「Y-PSC17」と法橋らによる保護者記入式の「PSC17日本語版」を参考に、小

児科医と心理士とが協力して作成した。続いて職業翻訳者によるバックトランスレーションにより、原版と整合性があると評価された。

2) 対象

対象は、近畿地方の公立小学校の 5、6 年生の児童 217 名、および私立中学校 1~3 年生の生徒 84 名である。回答の不備や無回答を除いた有効回答は小学生では 201 名、中学生では 64 名、合計 265 名であった。

3) 調査方法

2020 年 8~12 月に学校の教室で実施した。方法は、被検者の担当教員より趣旨説明文書が記載されている質問紙を配布し、生徒が無記名で回答し封入した上で、担当教員に提出させた。

JPSC17-Y は、回答選択肢型の 17 項目に対して、「全くない」、「時々ある」、「しばしばある」の 3 段階で回答し、それぞれ、0、1、2 点と得点化して、総得点を算出する。

また再検査法による信頼性を検討するため、中学生に対して、1 ヶ月の期間をあけて、JPSC17-Y を再度実施した。

4) 倫理的配慮

本研究は関西医科大学総合医療センター倫理審査委員会の承認を得て実施した (承認番号：2020015)。

C. 研究結果

1)信頼性の検討

2 回の調査に回答した有効回答者 64 名を対象とした JPSC17-Y スコアの Pearson の積率相関係数は、 $r=.86$ ($p<.001$) であった。

2) 因子構造と内的整合性の検討

因子構造を確認するために、最尤法による探索的因子分析を実施した。固有値の減衰状況および解釈可能性から 1 因子構造が妥当であると考えられた。そこで、1 因子構造を仮定した対角重み付け最小二乗法を用いた確認的因子分析を実施し、適合度を確認した。その結果、適合度は $\chi^2(119)=135.22$ 、GFI=.97、AGFI=.96、TLI=.99、CFI=.99、NFI=.94、SRMR=.08、RMSEA=.02 であった。また、17 項目の Cronbach の α 係数は、 $\alpha=.85$ であった。

D. 考察

JPSC17-Y を作成し、小・中学生を対象として JPSC17-Y の信頼性と妥当性の予備的検討を行った。その結果、JPSC17-Y は、研究者間で内容的妥当性を確認できた。小学 5,6 年生、中学 1,2,3 年生を対象として、再検査信頼性は高く、さらに内的整合性も確認できた。ゆえに JPSC17-Y は子どもの心理社会的問題を持つ子どもを早期に発見するツールとなりうることが示唆された。

今後、JPSC17-Y がスクリーニング機能を果たすためにはカットオフ値の設定が必要である。現在、心身症外来に通院する患者を対象とした研究を進めており、2021 年の発表を予定している。

今後の発展性として、PSC は現在は 30 か国語に訳され、世界中で数々の臨床研究や疫学調査に用いられている。JPSC17-Y を開発し実用化することにより、海外研究との比較も可能となる。早期の実用化を行い、その可能性を追求したい。

E. 結論

PSC17-Y は子どもの心理社会的問題のスクリーニングツールとなりうる。

文献

1) Jellinek MS et al. : Brief psychosocial screening in outpatient pediatric practice. J Pediatr 109(2), 371-378, 1986.

2) 石崎優子他：米国マサチューセッツ総合病院 Jellinek らの開発した Pediatric Symptom Checklist の日本語版の作成—小児心身症早期発見のために—。日本小児科学会雑誌 101, 1679-1685, 1997.

3) 平谷優子他: PSC (Pediatric Symptom Checklist) 日本語短縮版 (J-PSC17) の開発とその有効性の検討. 小児保健研究 73 (6), 776-782, 2014.

4) American Academy of Pediatrics: Links to Commonly Used Screening Instruments and Tools. https://toolkits.solutions.aap.org/ss/screening_tools.aspx

5) Massachusetts General Hospital: National Quality Forum (NQF) Endorses Pediatric Symptom Checklist in Latest Behavioral Health and Substance Use Report. Massachusetts General Hospital, 2018.

<https://www.massgeneral.org/children/news/national-quality-forum-endorses-pediatric-symptom-checklist-in-latest-behavioral-health-and-substance-use-report>

6) Murphy JM et al.: Adolescent self-screening for mental health problems; Demonstration of an Internet-based approach. Academic pediatrics 18 (1), 59-65, 2018.

F. 研究発表

1. 論文発表

樋口隆弘、石崎優子、上西裕之、柳本嘉時、小野真由子、石田陽彦、金子一成. 日本語版自記式 Pediatric Symptom Checklist 短縮版の有用性の検討. 子どもの心とからだ (印刷中) .

2. 学会発表

1) 樋口隆弘、石崎優子、上西裕之、柳本嘉時、小野真由子、石田陽彦、金子一成. 日本語版自記式 Pediatric Symptom Checklist (PSC) 短縮版の有用性の検討. 第39回日本小児心身医学会学術集会 (2021年9月)

2) 上西裕之、樋口隆弘、石崎優子、柳本嘉時、小野真由子、石田陽彦、金子一成. 日本語版自記式 Pediatric Symptom Checklist (PSC) 短縮版の小児心身症患者への有用性. 第39回日本小児心身医学会学術集会 (2021年9月)

G. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし。

2. 実用新案登録

なし。

3. その他

なし。

表. 自記式PSC17日本語版

あなたにもっともよくあてはまると思う回答に印☑を付けてください。

全くない 時々ある しばしばある

	全くない	時々ある	しばしばある
1. そわそわして、じっと座ってられない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 悲しい、幸せでない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. ぼんやりしていることが多すぎる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. ものを分け合うことはいやだ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 他の人の気持ちがわからない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 希望をもてない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 一つのこと集中できない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. 他の子とけんかをする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9. 自分に嫌気がさす	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10. 自分が悪くても人のせいにする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11. あまり楽しくない気がする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12. ルールを守らない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13. つい動きまわってしまう	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14. 他人をからかう	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15. 心配事が多い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
16. 他人のものを勝手に取ってしまう	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17. 気が散りやすい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>